

## 5.13世界法輪大法デー 横浜で祝賀パレード

今年で24回目となる5.13世界法輪大法デーを祝賀し、日本の法輪功学習者（以下、学習者）は5月7日、横浜で活動を開催した。そして、法輪大法が伝え出されて31周年と、慈悲で偉大なる李洪志先生の誕生日を祝福した。

学習者は雨の中、「法輪大法は素晴らしい」「法輪大法 in Japan」「4億1千万人の中国人が中国共産党（以下、中共）、共青团、少年先鋒隊を脱退」「中共を終わらせよう」「中共≠中国」と書かれた横断幕を手にパレードを行った。パレード隊は横浜市の中心地である桜木町駅前広場を出発し、天国楽団に導かれ、腰太鼓隊が締めくくりを務めた。途中、横浜市中心部、赤レンガ倉庫、中華街など多くの観光スポットを通過し、法輪大法の全世界への普及、平和的で理性的な反迫害活動、そして4億1千万の中国人が中共、共青团、少年先鋒隊から脱退したことを伝えた。

**パレードで人々が示した理解と支持**



■横浜に集まった法輪功学習者は5月7日、法輪大法が伝え出されて31周年と第24回世界法輪大法デーを祝賀するパレードを行った

桜木町駅前広場を通りかかった武江さんは、パレード隊が出発準備をしている時に次のように語った。「現在の中国は中共を思い浮かべますが、実際には中共に抵抗する人々もいます。将来的にはより平和な世界が

実現されるかもしれません。学習者が中国で法輪功が迫害されている事実を訴えるのは非常に危険ですが、このような事実が多くの人々に知られることを願っています。困難に屈しないで、頑張り続けてください！」

韓国から横浜に観光に来たキム・ソムイさんは、パレード隊を見て「非常に素晴らしいです。驚きました。雨が降っていますが、このパレードを見ることができてとても良かったです」と絶賛した。

オランダから横浜に観光に来たエヴァさんは、「今日初めて法輪功が迫害されている事実を知りました。中共は本当にひどいですね。皆さんが信仰の自由を持てるように祈っています。平和的に信仰している人々を迫害することは、非常によくないことです」と語った。

今回のパレードを通じて、地元市民や観光客からたくさんのエールが送られた。

パレードに参加したベトナム人学習者のドー・ダンナムさんは、法輪大法を修煉して5年になる。修煉して健康になり、心性も向上したという。また「李洪志先生、お誕生日おめでとうございます」と、祝賀を表した。

インド人学習者のプロンラディ・ノンダガベさんは、2カ月前に法輪功の修煉を始めた。彼女は自分が持っていた、「他人をあらかじめ良いまたは悪いと決めつけてしまう偏見」や「他人を差別する心」を放下し、より穏やかで落ち着いた人になったと語った。

## 米国で法輪功を迫害する中共工作員を逮捕

米司法省は4月17日、中国共産党（以下、中共）の工作員2人を逮捕したと発表した。逮捕された工作員は中共当局の指示により、米国内の法輪功学習者（以下、学習者）や反体制派を脅迫した罪に問われていた。

**逮捕された中共工作員、秘密警察署の設置を共謀**

起訴状によると、逮捕されたのはニューヨーク州ブロンクスに住む中共工作員・盧建旺（61）と、ニューヨーク州マンハッタンに住む工作員・陳金平（59）。福州市公安局の代理としてニューヨークで中共の「秘密警察署」を運営していたという。

この「秘密警察署」は2022年2月に設立され、学習者や世界各地の反体制派に「国境をまたぐ抑圧」を実行することを目的としている。

ニューヨーク東部地区のブレオン・ピース連邦検察官は17日の記者会見で「被告の盧建旺と陳金平は、今朝ニューヨークの自宅で逮捕された。中共政府警察の代わりに、マンハッタンのチャイナタウンで福州華僑警察署の支部の設置を共謀した罪に問われている」と述べた。

**中共工作員が米国で学習者に嫌がらせ**

起訴状によると、2人は少なくとも2015年から、ワシントンD.C.で中共に抗議する学習者に嫌がらせをするなど中共政府に協力してきた。

盧建旺はFBIによる尋問で、2015年に習近平が米国を訪問した際、ある同郷協会の会長とそれぞれ15人をワシントンD.C.に派遣し、学習者の平和請願活動に嫌がらせを行ったと認めた。この妨害事件の後、盧建旺は中



■米国司法省のデービッド・ニューマン主席司法次官補代理は4月17日、中共工作員2人を逮捕したと発表した（米司法省）

共公安部から扁額を授与されている。

起訴状には「米國務省の2021年国際宗教自由報告書によると、『中共は法輪功を排除するため、党が運営する超法規的な

治安組織を維持し、嫌がらせや監禁などの方法を用いている』」と記載されている。

法輪大法情報センターの執行主任レヴィ・ブロード氏は「中共による

学習者や他の被害者に対する国境をまたぐ抑圧は、長期的な問題です。学習者を攻撃し、スパイ行為を行った者に対して、米国政府がさらなる行動を起こすことを期待しています」と述べた。

# ソーシャルワーカー80人 法輪功を学ぶ

## インド・プネ市

法輪功学習者（以下、学習者）は4月21日、インドのプネにある著名な高校で、80人近くのソーシャルワーカーを対象に法輪功の功法を教えた。法輪功の安らかで平和的なエネルギーを体験した参加者は、今後も法輪功を学び続けたいと希望した。

サンスクリット語で「知識の目覚めた者」と訳される高校「ジュナナ・プラボディニ・ブラシャラ」は国際的な高校で、5年生から10年生までの生徒が約80人在籍している。ソーシャルワークチーム「サンバディーニ」は、校長のリーダーシップのもと、ボランティアと生徒の保護者で構成されている。その月例会では、これまでに有益なイベントを企画してきたが、4月には学習者を招いた法輪功の体験を企画した。

### 「法輪功の功法は有益」

サマタ・ザワレさんは、コロナウイルス流行時に法輪功を知った。法輪功を学んだ経験を

思い出し、地元の学習者に連絡を取り、ソーシャルワークチームに法輪功を紹介した。

サマタさんは「法輪功の功法は有益であり、コロナの流行中でも常に心を落ち着かせることができました。この良い功法を同僚と分かち合い、ソーシャルワークチームで広げ、更に教育活動に活かしたいと考えて企画しました」と語った。

当日は、地元の学習者が学校の講堂で1時間半、法輪功の5式の功法を実演した。その中の一人、IT専門家のアナンド・ポファレさんは、スライドショーで、法輪功の真・善・忍の理念と、中共による法輪功への迫害について詳しく説明した。

### 驚きの体験

当日はソーシャルワークチーム全員が参加し、第2式の功法・法輪椿法を共に煉功した。初めて体験した参加者は「煉功音楽がとても穏やか」と話した。



■80人近くのソーシャルワーカーが法輪功の功法を体験  
(インド・プネ市、ジュナナ プラボディニ プラシャラ高校提供)

参加者らは驚くほどの効果を分かち合った。手の平に明らかなエネルギーの流れを感じた人や、手が少し重く感じた人、頭の中で何かが回転する感覚のあった人などもいた。

60代の女性は、両腕を頭の前に置いた時に「前腕に

振動を感じた」と語った。普段は腕を上げると肩が痛くなるが、功法を体験した後はリラックスし、他の運動の後に感じる疲労感と全く違うと語った。

イベント後、団体の代表者は「法輪功を学んだ多く

の人が、今後も学び続けたいと望んでいます」と話し、今後も継続してレッスンを実施してほしいと要望した。

また学習者は、法輪功の著作『轉法輪』の英語版とヒンディー語版を、学校図書館に寄贈した。

## フランスの人々 法輪功の功法を体験

1995年に法輪功がフランスに伝えられて以来、法輪功はパリからフランスの各主要都市、村にまで広がっている。

4月初旬、フランス南部の法輪功学習者（以下、学習者）は法輪功を紹介する活動を二回実施した。

一回目は地中海付近のヴァール県の個人市場。学習者は、空き地で法輪功の功法を実演した。学びに訪れたある女性は、第2功法で法輪が腕と掌で回転しているのを感じた。ある人は美しい功法は皆が学びに来

る価値があると述べた。彼らは学習者たちに感謝し、この功法は得るものが大きかったと感じたという。

二回目はその10日後、学習者はアルプ＝マリティーム県ヴォーグレンニア公園で5式の功法を実演した。

ある通りすがりの人は功法を学び、法輪功は非常にポジティブで良いものだと感じたという。そして「全身に美しく純正なエネルギーが満ちるのを感じ、少しも疲れを感じませんでした」と語った。



## 「4.25平和陳情」を記念 東京で反迫害パレード

中国で1万人の法輪功学習者（以下、学習者）が1999年4月25日、北京の国務院にある陳情受付事務所に行き、天津で不当に拘束された45人の学習者の解放と、法輪功の書籍の合法的な出版を求めた。そして、学習者に合法的な修煉環境を提供するように要求した。学習者は、陳情の全過程で穏やかで平和的で、ピラをまいたり、スローガンを叫んだりすることもなく、平和で理性的な態度で、正義と良知を維持する道徳的な勇気を示した。

日本の法輪功学習者は、4月22日に東京で反迫害パレードを行い、中共による24年にわたる法輪功への残酷な迫害を厳しく非難し、全世界の正義の力で迫害を制止するよう呼びかけた。

パレードでは、中共による残酷な迫害の実態を暴く横断幕や資料が掲げられ、多くの人々が迫害の事実を知った。

和やかなパレード隊は多くの通行人を引き付け、学習者が掲げた横断幕や資料により、中国



で法輪功が残酷に迫害されている事実を知った人々が、学習者の反迫害活動を支持する署名を行った。

パレード隊は1時間以上にわたって行進し、100人以上の天国楽団や煉功隊がゆっくりと前進した。沿道では、学習者が資料を配布し、迫害停止の署名を募った。

東京都北区から映画を見に来た田中さんは、法輪功迫害の事実を知り、「中共はたくさんの人々が集まるのが大嫌いなんです。それは、自分

たちが正しいことをしていないと分かっているからです。だから迫害するんです。法輪功を支持する人たちの声を集めることが大切です」と述べた。

豊島区から来た大竹さんは学習者の説明を聞いて、中共による臓器摘出を批判した。

酒井さんは、学習者からの法輪功迫害の説明を聞いた後「共産党は民主的ではなく、言論の自由がないため怖い。頑張ってください」と語った。

# メニエール病が治り 幸せを取り戻した

2009年11月、激しい目眩と吐き気を感じました。立つことができず、主人にトイレまで連れて行ってもらいましたが、おう吐し続け、救急車で病院に搬送されました。

メニエール病と診断され、毎日目にするもの全てが揺れ動き、立つこともままならず、ベッドとトイレを歩き来る日々でした。

次第に薬なしでは眠れなくなりました。うつ状態になり、死にたいという気持ちになっていました。

## メニエール病に悩む私に希望が訪れる

絶望感の中で友人が「気功で治してもらったら」と言ってくれました。実は数年前にも、その友人に誘われたことがありましたが、当時はとて

も健康で仕事もしていましたし、テレビで中国人の悪事が頻繁に放送されており、怖いというイメージが強くて行きませんでした。今回再び勧められ、わらをもつかむ気持ちで電話帳で探しました。

偶然が重なり、近くで見つけました。そこは中華料理店でした。さっそく電話で確認して行きました。病気を治してくださいと言うと「人が治すものではなく、自分で心と身体を健康にするものですよ」と言われ、動作を少し教えてもらいました。その人はとても優しく親切な方で、私の思っていた中国の人とは別人でした。

## 気功に出会って救われた私の物語

翌日、少し離れた所に気功の練習場があると、主

人と行くことにしました。そして気功の動作と一緒に1時間しました。少し辛かったのですが、最後までやり切ることができました。その夜は不思議なことに、睡眠薬を飲まなくても朝までぐっすり眠ることができました。

気功の練習場に行くと「私達は本を読んで心を正し、動作をして体を健康にすることが目的です」と言われ、本を読むことになりました。とても難しい本で私には読めないと思いましたが、言われるままに読みました。

それから1週間ぐらいは眠ることができましたが、眠れない日は本を読むと心が落ち着き、眠りにつくことができました。

2カ月経つとメニエール病の薬も必要なくなり、体の調



■森原さん（本人）とご主人

子が良くなっていきました。

気功のある日はほとんど行きました。徐々に身体の調子が良くなり、眠ることも気にしなくなり、次第に良くなりました。毎日気功の動作をし、座禅をして法輪功の本を読むことも、少しずつ頑張っています。

今は主人と一緒に気功を続けています。友人も学び始め一緒に頑張っています。あの時、気功に出会っていなかったら今の自分はありません。地獄のような生活、絶望の中から幸せを取り戻すことができたことに本当に感謝しています！

## 法輪功を学ぶには

法輪功（ファルンゴン）は法輪大法（ファルンダファ）とも呼ばれ、李洪志先生により伝えられた気功修煉法です。法輪功の修煉は、「真・善・忍」を理念とし、学習者は宇宙の演化の原理に基づいて修煉します。法輪功は真に修煉する人を高い次元へと向上させるとともに、社会の安定と、人々の健康増進、道德水準の向上にも、計り知れない効果をもたらすことが実証されています。

### 一、概説

法輪功は「修煉」であり、「修」つまり心性を修めることと、「煉」つまり煉功をすることの2つが含まれます。

### 1、法を学ぶこと

法輪大法の主要な著作『轉法輪』には、心身を向上させるために必要な法理がすべて含まれています。学習者は『轉法輪』を繰り返し読むことで、深い内包を悟ることができます。

法輪功学習者は普段、法輪大法の著作を学ぶことを「学法」と呼んでいます。学法には、注意すべきことが2点あります。

1) 『轉法輪』を読む時、はじめから終わりまで通読すべきで、一部分だけを選んで読むはいけません。途中で中断しても構いませんが、書かれている順序どおりに読み進めていきましょう。

2) 学法の時、いかなる求める心もあってはなりません。心を落ち着かせて繰り返し通読してこそ、「求めずとも自ずと得る」ことができるのです。

学習者は、通読中に生じた疑問への解答が、後の章で得られることがあると体験しています。再通読することで、また新たな疑問が生じ、また解答が得られます。

### 2、煉功

法輪大法は煉功（動作）をする必要がある性命双修の功法で、5式の功法があります。李洪志先生が書かれた『法輪大法大圓滿法』には功法の特長、写真と動作の機理、付録が含まれます。

### 二、学ぶには

最も効果的に学ぶ方法は、『轉法輪』を通読するか、「9日間のビデオ学習講座」（9日間セミナー）に参加して、李洪志先生の説法の録画を順序どおり見ることです。毎日、説法の録画を見た後、法輪功の功法を学び、煉功します。

『轉法輪』は「論語」と9講の説法から構成され、説法の録画・録音も同じく9講です。

世界中にある法輪功学習者たちが活動する煉功場（気功教室）があります。「9日間のビデオ学習講座」が開かれていれば、参加することができます。最寄りの煉功場を探し、9日間セミナーに参加して9講の説法を全て聞き、5式の功法を学ぶことができます。

9日間セミナーに参加できない場合は、自分で『轉法輪』を読んでから煉功場で動作を学ぶことができます。煉功場には集団煉功があり、正しい動作を学び、学習者が間違いを直してくれるため、効果が高まります。続けて参加することで惰性を克服しやすくなります。

周りに煉功場の無い方は、李洪志先生が自ら功法を教えている録画を見ながら独学することができます。5式の功法を順番通りに学んで、毎日煉功する時、法輪大法の煉功音楽に

合わせて煉功することができます。

また、オンラインでのレッスンも開設されました。

### 初めての方への注意：

法輪大法のいかなる活動も、すべて法輪功学習者たちがボランティアとして行い、すべて無料です。ビデオ学習講座（セミナー）、功法を教えること、修煉体験交流会等々を含めて、修煉の純正さを保つために、料金を取る行為を絶対に禁じています。もし有料のものがあれば、それは決して法輪功学習者が開催したものではありません。ご注意ください。

### 法輪功を体験してみませんか？



無料オンラインレッスン  
LearnFalungong.jp



## 同居の娘夫婦と衝突もなく心が通じ合う

16年前に主人を亡くして、何か前向きに考えなくてはいけない不安定な状況にいた時、法輪大法と出会いました。知人の紹介で自分の心を修めながら身体を鍛える気功であることを知りました。自由参加であり強制ではないこと、そして無料と聞き、心の中では「本当に大丈夫なのか？ タダほど高くついて怖いものは無い。後から請求がやってくるのではないか」と不安を感じながらも、興味本位で気に入らなければやめれば良いという気持ちで行ってみました。

### 心が落ち着く気功

参加してみると簡単で、激しい動きもなく、

ゆったりとした動作、座禅に合わせた音楽も心地よく、本当に心静かに落ち着く気功でした。そして『轉法輪』という1冊の本との出会いが、私の考え方を変えました。

以前から日常生活の中で、私は「何のために生きているのだろうか」と疑問に感じる事がよくありました。

気功しながら法輪大法の勉強によってその疑問も解け、私の人間としての生き方、考え方、心の持ち方が少しずつ良い方向に変わっていきま

### 法輪大法に出会ってからの人生の変化

私は主人を亡くし、娘夫婦と孫との一緒に生活でトラブルが何度も起こり、相手の欠点ばかり見つけ、心を修めることをしませんでした。法輪大法を勉強していなければ、執着心に気付かないまま生活を続けていたに違いありません。法輪大法の教えのおかげで相手が一番に置き、内に向けて探す習慣が身につくと、衝突もなくなりました。

友人からは不思議がられます。「長い年月、娘たちと暮らしてどうしてそんなにうまく生活できるの?」。私は友人に、法輪大法を勉強しているおかげだと答えます。



相手に対して優しい心があるか、自分自身にどこか悪い所は無いか、いつも頭の中で考えることにしています。法輪大法に出会って16年間、一步一步毎日を

重ねて、今日まで健康で、薬を飲むこともなく、体が軽く毎日楽しく元気で過ごすことができいております。これからも法輪大法とともに頑張ります。

## 仕事で怒られても恨む心を捨てると職場環境が改善

私は日本の法輪功学習者です。法輪大法の修煉を始めるまで、ずっと仕事上の人間関係など、ストレスを感じていたのですが、修煉を始めてだんだんと克服できるようになりました。その体験を書き記したいと思います。

### 自分を律することで仕事のストレスから解放

私は、どちらかという

うで、サボることはしないのですが、仕事の理解力に乏しく、覚えるのも行動も遅く、要領が悪い、いわゆるノロマな人間です。

ですから、仕事で怒られることが多く、周りも私と距離をとっていました。真面目にやっているのに怒られてばかりで、非は仕事の出来ない自分にあるものの、納得がいかず、ストレスになっていました。

作業も自分だけ複雑になることがあり、仕事が遅いのにもますます時間がかかり、余計に怒られるようになりました。何度も怒られていると「なぜ自分だけこんなに仕事がきつくなるんだ」と思うようになりました。

しかし、法輪大法は修煉者として、まず良い人にならないといけないとあります。仕事ができない人が良い人と言えるのでしょうか？ また師父は教書の『轉法輪』の中で

「常人の中のいかなる技能とも違い、お金を払って、何かコツを習えば身に付くようなものではありません。そんなことではなく、それは常人の次元を超えるものなので、あなたを超常の理で律しなければなりません。どのように律するのでしょうか？それはつまりあなたは内に向かって修めなければならないということで、外に向けて探してはなりません」とおっしゃいました。

何か問題があったら、状況のせいにして外に求めてはなりません。なぜこのようなトラブルが起こるのか、自分の心の中に原因を探さなければならぬと私は考えました。

### 法輪大法を修煉して周りの人から認められるようになった

自分の非を見つけることは難しく、無意識に相手の非を探す癖があることに気づきました。怒られることによって自分の面子が潰されそうになり、相手の非を探して相手も同じく非があると思ひ込むこ

とによって、心のバランスをとっていたのです。また、表面的には言い返したりしないのですが、不満が残っていて、恨みの心が蓄積されていた。

私はできるかぎり、怒られたときに相手の非を探したい心を抑え、そういった心が起こらないようにしました。時には理不尽に感じられることがありましたが、心が動じられないように自分を律し続けました。

やがて蓄積されていた恨みの心がなくなり、周りの人が仕事ぶりを認めてくれるようになりました。怒られることがあっても以前のように心が動じなくなり、仕事の環境も改善され、作業もスムーズに短時間で終わるようになりました。

トラブルの原因を見つけ正しく律していなければ、同僚たちにも認めてもらえていなかったでしょう。

小さなことですが、これは法輪大法を修煉していたからこそ起こった、私にとっての奇跡なのです。



# 李桂彬さんが河北省女子刑務所で迫害され死亡

河北省秦皇島市の法輪功学習者・李桂彬さん（女性）は、2019年7月に同市昌黎県



裁判所から懲役4年、罰金1万元の不当な判決を宣告された。2021年5月、李さんは石家荘市にある河北省女子刑務所に送られ、刑務所で迫害されたため、今年4月16日に死亡した。享年80歳。

## 中国で法輪功学習者が迫害されている実態

4月16日午後9時頃、李さんの家の前に車が止まっていた。翌朝4時、李さんは自宅で亡くなっていた。李さんの息子は「2日前に女子刑務所に、母がもうすぐ死ぬかもしれないので引き取りに来るよう」と言われ、入院させまし

たが、母はすでに亡くなる寸前でした」と話した。

李さんは撫寧県石門寨鎮に在住。法輪功を学ぶ前は大腸がんを患い、化学療法を6回受けても治らず、死を覚悟していた。2003年、知人の紹介で法輪功の本を読んだところ、言葉では表現できないほど心地よく感じた。李さんは、法輪功の本を読み、法輪功の功法を学んで7、8日間で力がついてきて、徐々に健康を取り戻し、髪の毛も生えてきた。

それから、李さんはより多くの人が法輪功の恩恵を受け

られるようにと自らの体験を人々に伝えたいと考えた。中国共産党による法輪功への迫害の中で、李さんは法輪功を学び続け、法輪功迫害の事実を伝えていたとして、当局からの迫害を繰り返し受けていた。

2004年12月14日の夜、李さんは法輪功迫害の事実を人に伝えた際、石門寨鎮派出所の警官に連行されたが、体の痙攣が起きたため帰宅させられた。一緒に出かけた楊さんは県の拘留所に送られた。

李さんと呉玉霞さんは、私服警官に法輪功について話し

た後、警官によって連行され、警官は李さんの家を家宅捜索した。

2007年8月29日夜、李さんと学習者・侯広玉さんは、警官に連行された。

2014年に李さんは再度連行された。

2017年7月27日、李さんと学習者・高興太さんは、石門寨市場で人に法輪功迫害の実態を話していたところ、警官に連行された。

2018年4月27日、警官は高さん、李さん、尚秀君さんらを連行した。高さんと李さん

は検査結果が基準に満たなかったため入所しなかったが、尚さんは留置場に10日間拘束され迫害を受けた。その後、2018年6月17日に死亡した。

李さんと高さんは、石門寨派出所から秦皇島昌黎県検察庁へ書類送検され、2018年8月20日、李さんは被せられた罪を認めず、警官が代わりに調書にサインした。同年12月27日、李さんは警官か

ら尋問を受けた。尚さんの死因について、李さんは「あなたたちが迫害して死なせました。今度は私と高さんに迫害を加えようとしているでしょう」と言った。警官は「『轉法輪』をどんな本だと思っているのか」と聞くと、李さんは「素晴らしい本です」と答えた。

## 迫害がもたらした悲劇：李さんの死

2019年7月、李さんは秦皇島昌黎裁判所に懲役4年、罰金1万元の判決を下された。8月19日の朝、李さんは2人の警官によって秦皇島公安病院に連れて行かれ、PCR検査を受けた後、血圧を測り、202mmHgもあり、2時間後に再び測ると185mmHgまで下がっていた。

翌朝、李さんは超音波検査、レントゲン撮影、血液検査、尿検査などの検査を受け

た後、留置場に連れて行かれた。そこで医者から「病気にかかったことがあるか？」と聞かれ、「大腸癌で、化学療法を6回受けました。秦皇島第一病院にカルテがありません。法輪功を学んで奇跡的に完治しました」と答えた。医者が再び李さんの血圧を測ると、220mmHgで入所基準に満たなかった。

李さんが帰宅したのは夕方6時頃だった。李さんの夫は

「血圧が高いので、帰宅させられたが、そうでなければ刑務所に送り込まれただろう」と言った。

2020年11月18日、李さんは秦皇島留置場に拘束された。息子は何度も母親に面会に行ったが、留置場側にすべて拒否された。

その後、李さんは石家荘女子刑務所に送り込まれ、迫害を加えられ亡くなった。

## 天津市の韓玉霞さん（80代） 懲役4年の不当判決

天津市河西区の法輪功学習者・韓玉霞さん（80歳女性）は4月26日、河西区裁判所に懲役4年の不当判決と2万元（約40万円）の罰金を不当に宣告された。韓さんは判決を不服として控訴した。

韓さんは、2019年10月29日、法輪功について人々に話したとして、河西公安支局の国内安全保衛部門（法輪功迫害の実行機関）、友誼派出所、越秀路派出所の10人以上の警官らに連行された。

警官らは電気ドリルを使って韓さんの家に侵入し、法輪功の書籍、プリンター、パソコン、携帯電話、事務用品、法輪功に関する情報が記載されたカレンダーを押収した。その後、韓さんは地元の活水道拘留所に拘禁され、同年12月1日に保釈された。

韓さんは昨年10月15日、学習者・孫桂香さんを訪ねたとき警官に見られていたため、その後、再び連行された。2人の学習者は取り調べのために派出所に連行され、家宅捜索を受けた。

同年12月5日、河西区越秀路派出所の2人の警官が突然、韓さんを自宅から河西区裁判所に連行した。

男性4人と女性2人が韓さんに対する裁判を行った。裁判長が「法輪功を学んでいるのか」と聞くと、韓さんは「はい。配った資料は人々に真実を伝えるためです。私がやったことは国にも社会にも百利あって一害なしです」と答えた。

今年4月23日、警官は身体検査のためだと韓さんを病院に連れて行っ

た。韓さんは高血圧であることが判明し、その日のうちに家に連れ戻された。警官は翌日、再び韓さんを河西区拘留所に連行した。韓さんの血圧は非常に高く、警官は韓さんを再び家に連れ戻された。彼らは翌日、韓さんに電話をかけ、韓さんに裁判所に行くようにと伝えた。韓さんは従うことを拒否した。

4月26日、警察は韓さんを自宅から裁判所に連行した。韓さんは懲役4年の不当判決を宣告され、その後、控訴した。

韓さんの夫・郭徳有さんは、河西留置場に3回拘留され、家宅捜索を6回受けた。労働教養処分3年を科されて双口労働教養所、板橋労働教養所に拘禁され、懲役5年の不当判決を受けた。

## 武漢市の胡永秀さん 迫害され死亡

武漢市江岸区の法輪功学習者・胡永秀さんが3月30日、第六病院前で法輪功迫害の事実を人々に伝えていたとき、警察に不当に連行された。わずか6日後の4月5日、胡さんは迫害され死亡した。胡さんの自宅に霊堂が設けられているが、そこには派出所の警官が見張っていたという。

胡さんは法輪功を学び始め、頸椎症、胃病、腰痛が治った。

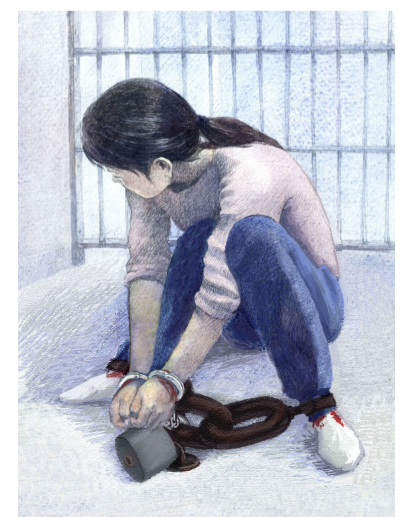
2001年11月、胡さんは学習者に会いに行った際に、警官に連行され、殴られたり蹴られたりし、武漢公安局第一処に38時間拘束された。同時に、警官らは胡さんの家を家宅捜索した。

2004年4～9月、胡さんはコミュニティの職員から頻繁に監視や嫌がらせを受けた。

2011年4～9月、胡さんは再びコミュニティの職員から監視、尾行、嫌がらせを受けた。9月21日夜、コミュニティの警務室に呼ばれた胡さんは、そこにいた7、8人に引っ張り出され、パトカー

に乗せられそうになった。彼らは胡さんの夫と口論し、胡さんはパトカーから逃れ、放浪生活を余儀なくされた。その後、コミュニティの職員は胡さんを見つけるために胡さんの家族に嫌がらせや脅迫を行い、胡さんの母親は精神的なダメージを受け、2012年12月28日に心臓発作を起こして亡くなった。

3月30日、胡さんは公安警察に発見され、連行され、迫害されて亡くなった。詳しい状況はいまだ不明である。



# 中国の臓器狩り問題

## 勉強会参加者が中国の法輪功学習者にエール

SMGネットワーク（中国における臓器移植を考える会）は4月2日、東京で勉強会を開催した。勉強会では、中国共産党（以下、中共）による生体臓器狩りの犯罪を明らかにし、国際社会に対して法輪功学習者への迫害を止めるよう呼びかけ、人権侵害に対する社会の関心を高めることを目的とした。

医療ジャーナリスト協会理事や新聞社の記者、企業の社長、独立行政法人のシニアアドバイザーなどが参加する中、カナダの人権弁護士デービッド・マタス氏は「生体臓器狩りは、法輪功学習者に対する犯罪行為であり、著しいジェノサイド行為です」と指摘した。

マタス氏は法輪功学習者による反迫害活動が成果を上げていることを評

価した。中共による生体臓器収奪が22年も続いており、中共に対して悪事を停止するよう忠告し続けている。

### 日本のジャーナリストが語る、法輪功学習者への冤罪と臓器摘出問題

勉強会終了後、参加者の青木さんは学習者に「共産党が倒れたら本当の中国になる。法輪功学習者は、信念で迫害を乗り越え、真・善・忍のために全力を尽くして頑張りたい」と述べた。

日本の「脳死と臓器移植」問題を長年取材してきたジャーナリストの日比野守男さんは「法輪功学習者は他人に害を与えるようなことは一切していない。それなのに、そういう無実の人々にでっち上げの罪をかぶせて拘

束し、生きたまま臓器を切り取るなんて許せない」と語った。

橋本さん夫妻は、法輪功学習者が無実の人々であることを強調し、法輪功が弾圧を受ける理由が理解できないと語った。

### ドキュメンタリー映画「ヒューマン・ハーベスト」が問いかける中国の生体臓器収奪

「NPO法人 移植ツーリズムを考える会」は神奈川県相模原市で、中共が法輪功学習者から臓器を摘出している犯罪についてより多くの日本人に知ってもらうため、4月8日にドキュメンタリー映画「ヒューマン・ハーベスト」の上映会を開催した。大学教授なども含め、多くの観客が映画を観賞した。



■東京で開催された勉強会で発言する、カナダの国際人権弁護士、デービッド・マタス氏

「ヒューマン・ハーベスト」は、法輪功学習者からの生体臓器摘出問題を取り上げ、多数の国際的な賞を受賞し高く評価されている。

曾根さんは中国共産党によるジェノサイドと人道に反する行

為について、日本人にもっと知ってほしいと話し、日本政府が共産党に対して忠告することを望んだ。

代田さんは「ヒューマン・ハーベスト」を見て、法輪功学習者を応援すると語った。

## 「法輪功の反迫害活動は正義」

### ジュネーブ議会議長

フランス語圏のスイスの法輪功学習者（以下、学習者）は4月28日、ジュネーブの旧市街で煉功を実演し、法輪功への迫害の実態を伝える活動を行った。ここにはジュネーブ州の公文書館があり、17世紀に建てられたアーケードホール（訳注：天井がアーチ型の大きなホール）がある。向かい側はジュネーブ州議会、ジュネーブ州総理府の所在地である。

ジュネーブ州の議員が次々と活動ブースを訪れ、活動への支持を表明した。中には演説する人もいて、迫害制止に賛同して署名したり、学習者と一緒に撮影する人もいた。彼らは、中共による学習者への迫害に反対すること（以下、反迫害）は、完全に正義を守ることだとコメントした。あ



■ジュネーブ旧市街で煉功の実演



■ジュネーブ州大議会議長マウロ・ポツジア氏(右2)

る議員は「私はあなた達の正義の戦いを支持する!」と述べた。

ジュネーブ州大議会議長ポツジア氏が法輪功を支持し「法輪功の反迫害活動は正義であり、皆さんは積極的に活動しています。私達は中国で起きていることを知っています」と語った。

ポツジア議長は「皆さんが世界の関心を引き寄せたことに感謝します。最終的に事態は変化するでしょう。私達は全ての不幸な学習者を救い出

して自由を与え、尊厳のある生活を送ってほしいと思います。この人たちは誰にも害を与えない人たちです」と述べ、最後に両手を合わせて学習者に敬意を表した。

ジュネーブ州大議会議員ディミエ氏は、学習者の反迫害活動を長年支持してきた。彼は署名用紙に署名し「法輪大法は素晴らしい!」と言って学習者に敬意を表した。

### 移植医「私達は道德規準を遵守すべき」

移植医であるモレル氏は学習者に「私はジュネーブの大学病院で臓器移植をしており、適切な倫理的条件下で移植を行っています。その条件ではドナーが尊重されており、ヨーロッパ委員会の規則は移植業に有益で、ドナー保護の枠組み内で行われます」と語った。

モレル氏は、学習者が中国共産党により生体から臓器を収奪されていることについて「もしこれらのことが実在しているのであれば即放棄する

べきで、道德規準を遵守すべきです。臓器移植とドナーに関する国際規則を遵守すべきです」と述べた。

### 続々と支持を表明

前議員のシュヴァリエ氏は学習者の反迫害の状況を聞いて感動し「皆さんは完全に正義を守る活動をしています」と語った。同氏は迫害停止の請願署名用紙を2部もらい、帰って親戚や友人に署名してもらうという。

フランソワ・カノニカ氏は、長期にわたって学習者の反迫害活動を支持し、生体臓器収奪（臓器狩り）を非難し「私は100%法輪功の戦いを称賛します!」と語った。

ジュネーブ州大議会議員リエル氏は「私はあなた達の正義の戦いを支持します!」と述べた。

# 醜い容貌は神が改める

## 人を助け、思いやりの心がもたらした福德

短編小説集『小豆棚』によると、清の時代、寧波に樊道濟（はん・どうさい）という学者がいました。ある年の7月、道濟は杭州に行って試験を受けようと思っていましたが、家にはお金がありませんでした。ある人が彼の才能を惜しんで、彼にお金を贈って受験を助けてくれました。

道濟は杭州に向かう途中、道端で置き去りにされた赤ん坊を見つけました。赤ん坊は息絶えそうでした。道濟は持っていたお金を豆腐屋の夫婦に預け、赤ん坊を育ててくれるように頼みました。

杭州に着くと、一銭も無い道濟は、知り合いの僧侶の宿坊に泊まりました。その夜、僧侶は夢の中で、守護神が文昌帝君（学問や科挙を司る道教の神）に郷試の名簿を送る場面を見ました。その中で、寧波の守護神は「樊道濟は人を救う心があり、選出させることができます」と推薦したのです。

### 福德をもたらす徳の重要性

文昌帝君は道濟を連れてくるように命じましたが、彼の容貌が卑しくて醜いのを見て、彼の風采を上げる方法に

ついて悩んでいました。

守護神は「髭と眉毛を変えれば、堂々とした男になります」と提案しました。

道濟の容貌が醜いのは、髭がないからでした。守護神は、髭の濃い判官を指さして「あなたの髭をくれ」と言いました。判官は、すぐに自分の髭を顎から外して、道濟につけてあげました。

僧侶は夢が覚めるとすぐに道濟に伝えようとしたのですが、道濟を見ると、一晩の間に立派な髭が生えていて、僧侶は笑ってしまいました。道濟は自分の変化に気づかず、

僧侶の笑いに戸惑いました。

僧侶が夢で見た通り、道濟は今回の郷試に合格しました。故郷に戻った道濟を見た村人たちは、彼の容貌の変化に驚き「昔の無名の樊髭(あだ名)は、今やただの君子ではない!」と言いました。その後、道濟は刑務所で訴訟の役人を務めました。

樊道濟は他人を助け、義を重んじたため、守護神が容貌を変え、受験に合格させました。思いやりの心が福德をもたらした環境も変えたのです。

徳を重んじることは、すべての福と福報の根源であるこ



とを理解することができれば、気風が日に日に墮落している今の社会の中でも、恩恵を受けることができます。

## 北宋の文豪・蘇東坡と五戒和尚 現世と前世

中国では、歴史的に輪廻転生の概念が人々の心に深く根ざしています。輪廻転生を篤信した人々は、輪廻転生の視点で世界を認識して理解し、その世界観を形成しました。そして、多くの事例も書き記しました。

『水滸伝』で梁山泊の好漢たちが斬首されたとき、「首を刎ねられてもお腕大の傷が残るだけで、20年後にはまた好漢として世に戻ってこられる」と皆は信じていました。今死んだとしても、輪廻によって来世にまた好漢として生まれることができると考えていたのです。

しかし、中国共産党が統治するようになると、宗教や神に関する文化が否定され、伝統文化を知らない中

国人が増えました。今では輪廻転生の証拠を絶えず探し求めなければなりません。古代では、輪廻転生を証明する方法や理念は、現代とは全く異なるものでした。

どれほどの輪廻転生や因果応報が存在していたのか、迷いの中で人々に目覚めてほしいとの願いを込めて、限られた紙面で輪廻転生の事例の一つだけを紹介したいと思います。

### 蘇東坡の前世は五戒和尚

東坡（とうば）居士という号をもつ蘇軾（そしよく）は、北宋の文人、書家であり、翰林（かんりん）学士などを経て礼部尚書まで昇進した人物だと現在で

は知られています。しかし、彼の前世が和尚であったことはあまり知られていません。実際、彼は詩の中で何度も自分の前世に触れており、『南華寺』ではこのように綴っていました。「私はもともと修行者であり、三世にわたり精進していましたが、途中で誤った一念を起こしたため、この百年の譴責を受けることになりました」

蘇東坡（そとうば）は五戒和尚の生まれ変わりだと言われ、その痕跡は以下のようなものです。

彼の母親が妊娠したばかりの頃、僧侶が宿を借りに来る夢を見たそうです。その僧侶はすらりとして美しい姿をしています。片目が見えません（陝右出身の

五戒和尚はまさに片目が見えません）。

蘇東坡は友人と壽星寺に行き「前世はこの寺院の僧侶だった」と語り、92段の階段など周辺を詳しく知っていました。その後、彼はたびたびこの寺院を訪れていました。

蘇東坡の弟と2人の和尚が「3人が一緒に都を出て、五戒和尚を迎えに行く」という同じ夢を見ました。

蘇東坡も8歳か9歳の時に前世は僧侶である夢を見たと言いました。

蘇東坡は在家人でしたが、僧侶の服を好み、宮廷服の下に着ていました。それは、前世による習性だったのかもしれない。

蘇東坡が五戒和尚の生まれ変わりであることは、複数の人が同じ夢を見たことから間違いないでしょう。

五戒和尚は片目が失明していて、陝右寺院の住職で、赤ん坊の紅蓮を拾って育て、美しい女性に成長した紅蓮と関係を持ち、色欲の戒律を破ってしまいました。

五戒和尚には「明悟」という弟子がいて、入定の中でそのことに気づき、詩を書いて彼に気づかせることにしました。五戒和尚は恥ずかしさのあまり、座禅を組んだまま死にました。

明悟は、「道を踏み外した兄弟子は、来世で佛法を中傷する

かもしれない。そうなれば永遠に浮かぶ瀬を失ってしまう。彼が道に立ち返るように、助けに行かなければならない」と考えました。

そこで、弟弟子も急遽座禅を組んだまま死に、輪廻転生に向かっている五戒和尚の後を追いつ、蘇東坡の親友である佛印和尚に生まれ変わりました。

### 功績と名声に酔い、目覚めてから神になれないことを悔やむ

蘇東坡は元来佛法を信じず、名利にふけていました。才能に恵まれていたものの、官界の浮き沈みに揉まれただけで出世はしませんでした。

彼の傍を離れなかった佛印和尚は生涯を通じて、彼が目覚めるように勧化していました。そしてついに彼は目覚め、因果応報や輪廻転生を堅く信じるようになり、佛法修煉に励むようになりました。

北宋の建中靖国元年（西暦1101年）の7月28日、亡くなる直前の蘇東坡は枕元の息子3人にこう言いました。「私は生涯、悪いことをあまりしていません。地獄に落ちることはない」と信じている。あまり悲しむことはない」

また、蘇東坡は人々に、神の世界が実在していると戒めながらも、自分自身はもはやそこに戻ることができないと残念に思っていたのでしょうか。



# 韓国の牧師 『なぜ人類が存在するのか』を読み 「生命の方向を指し示された」

■ 『なぜ人類が存在するのか』を読む姜錫貞牧師



法輪功の創始者である李洪志先生が1月20日、『なぜ人類が存在するのか』という経文を發表された。この経文は明慧ネット上で公開されてから3カ月で、中国国内はもちろん海外でも広く読まれており、明慧ネットでは世界中の読者からの感想が次々と掲載されている。

今年78歳の姜錫貞（ガン・ソクジョン）牧師は、60年にわたってボランティアの献血を通じて、生命の尊さと慈愛の精神を実践してきたという。また同師は、孔子学院（中国共産党

が海外で設立したスパイ機関と言われていた）の実態を明らかにする活動でも、釜山、蔚山、慶南の代表を務めている。読書が好きな同師は、法輪功学習者（以下、学習者）たちにすすめられて『なぜ人類が存在するのか』を何度も読み返し、自分自身が新しい理解を得るたびに「より平静な心境になっている」という。

「李先生は人々の心が混濁し、社会が混沌とした現在において、人々が内面的な平穏を取り戻し、人類を救うために發表されたのだと思います」と姜牧師は話した。

同師はさらに続けて「昔も今も、『人間はなぜ存在するのか？ 人間はどこから来て、どこに行くのか？』という疑問は、あらゆる生命が少なくとも一度は考える命題ですが、誰も答えを出すことができません。私は『なぜ人類が存在するのか』という経文が生命の方向を示していると考えています。自分が失意や苦しみに陥ったとき、一読するたびに内面がより平静になり、霊性や精神的啓示を継続的に得ることができます」と言った。

同師は、自分自身の実践によって人生を分かち合うこと

を信念とし、500回以上の献血を行っている。彼の信念は、若い頃に僻地で教育生活に根ざしている。

同師は瞑想を通じて自分の信念を形成し、心の平穏を得たと振り返っている。

彼は続けて、「李先生の文章を読んで私は、李先生はかなり卓越したリーダーシップ能力を持つ精神的指導者であると感じました」と話した。

「李先生がどこにいらっしゃるのかは分かりませんが、一度会ってみたいと思っています。私は李先生の個人的な修養が非常に高いと考えています。李先生の心意をそのまま伝えることができれば、世界は紛争を起こすことはないでしょう」と述べた。

## 「人類の根本的な出口は創世主のもとに帰るしかありません」

姜牧師は『なぜ人類が存在するのか』を読んで、友人と共有した。彼は友人たちに「欲望が強すぎると魂が永遠に死んでしまいます。だから、一緒にこの経文を読み、人間の心を再設計することができる学校を作りましょう」と話した。

「世の中の人心が陰悪で、夫婦や親子が敵になるのは、善意がないからです。社会は善に向かう運動を提唱し、心を浄化することで現状を改善する必要があります」

「人類の進路は実際にはただ一つです。もし創世主が人類を造ったなら、人類は創世

主とともに戻り、人類の根源に戻らなければ、戦争や紛争がなくなることはないでしょう」と言った。

## 「中国共産党は犯罪を犯している」

孔子学院は、中国語や中国文化を世界に紹介するための機関であるが、韓国国内では中共の宣伝や闘争を煽動することで論争を引き起こしている。孔子学院の真の目的を暴露するため、姜牧師は、韓国全土を走り回っている。彼は毎週、中国大使館前で中共の暴行を暴露している。

姜牧師は、「中共は『超限戦』を展開しており、韓国は目を覚まさない限り違法が合法となったら、国民は抵抗権を行使し、誤り

を指摘すべきです」と指摘した。

1991年から1996年まで同師は中国に住み、中共の悪辣な本質を理解し、次のように指摘した。「中共政府は、大きな罪を犯しています。法輪功が迫害を受ける理由は何もありません。心の平穏を得るため、個人修煉を行う人々を迫害することは、共産党が大きな過ちを犯していることを意味します」

「中国では共産党は神の上に存在していると考えられています。しかし私はこう信じています。中共が法輪功を迫害しても、法輪功を絶滅することはできません。それどころか、法輪功は野火のように広まり、ますます大きくなるでしょう」と強調した。

「なぜ人類が存在するのか」の全文は明慧ネットで読むことができます

李洪志師父の發表  
なぜ人類が存在するのか



## 慶祝「5.13法輪大法デー」 カナダの市役所で旗を掲揚



毎年5月は法輪大法月間であり、5月1日、「法輪大法デー」の旗がカナダ・オンタリオ州のミルトン市で掲揚された。市長のゴード・クランツ氏が主宰し、旗は市役所で16日間掲揚される。

2023年5月13日は、法輪大法が世界に広まって31周年及び24回目の世界法輪大法デーである。2021年からカナダの各主要都市で、相次いで国旗掲揚式やランドマークを明るくイルミネーションしたイベントが始まった。今年は20都市で国旗掲揚や点灯式が行われる。

同時に、5月1日夜、カナダ・アルバータ州のエドモントンでも、地元のランドマークである橋をライトアップし、法輪大法デーを祝った。

### 市長「更に素晴らしい未来がもうすぐ到来する」

今年初めて掲揚式が行なわれるミルトン市は、カナダのオンタリオ州南部のハルトン地域に位置し、カナダで最も発展している町の一つである。

今年85歳のミルトン市の市長ゴード・クランツ氏は、市長を43年務め、カナダで最も長く務

めている市長であり、法輪功学習者が中国で迫害に遭ったばかりのとき、市長は学習者に接見したことがある。市長は10年継続して法輪大法学会に表彰を贈っている。

クランツ氏は「真・善・忍はとても重要で、他人の観点に同意できないときに、自分の考えを強制せず、寛容であること、理解することが大切です。私の願望は、ミルトン市の人の生活がますます良くなること、もちろんこの場にいる全ての人も含まれます」と述べた。